

## 12. アズキに関する参考文献(年代順)

### (1) 道立農業試験場報告・集報等

- 高橋良直ほか(1917)：小豆の形態学的、遺伝学的研究、小豆の特性調査並びに交配試験成績、道農試報告、7、1-181、
- 北海道農事試験場(1927)：主要農作物優良品種の解説、道農試彙報、46、63-70、
- 藤原貞夫(1927)：小豆、道農試彙報、43、1-6、
- 山内益夫(1964)：小豆の無機栄養に関する調査、2、主茎各葉位別葉の生育調査と窒素、磷酸、加里の行動について、道立農試集報、14、68-79、
- 嶋山鉦二ほか(1967)：栽培環境が作物の生育におよぼす影響、第Ⅱ報 豆類の生育におよぼす影響、道立農試集報、15、22-36、
- 野村信史(1967)：小豆の遺伝子型相関と表現型相関、道立農試集報、16、114-120、
- 北海道立中央農業試験場(1967)：北海道における農作物の収量と気象要因との関係について(移転記念)1-194、
- 野村信史ほか(1968)：小豆系統の可視的選抜に影響を及ぼす要因の経路係数分析、道立農試集報、18、24-32、
- 渡辺 泰ほか(1969)：栽培年数が異なる牧草跡地の小豆の生育、収量、道農試彙報、95、65-74、
- 野村信史ほか(1970)：生育時期別の低温処理が小豆品種の開花順序と開花速度に及ぼす影響、道立農試集報、20、73-79、
- 成河智明ほか(1970)：豆類の耐冷性に関する研究、第1報、低温と遮光に対する反応、道立農試集報、22、10-19、

- 小山八十八ほか(1972)：小豆新品種「寿小豆」の育成について、道立農試集報, 25.81-91.
- 後木利三ほか(1972)：小豆新品種「曉大納言」の育成について、道立農試集報25, 70-80.
- 成河智明ほか(1973)：豆類の耐冷性に関する研究, 第2報, 低気温と低地温に対する反応, 道立農試集報.26, 28-36.
- 野村信史(1974)：小豆に対する低温の影響について, II, 開花前後の低温と子実肥大との関係, 道立農試集報.30, 9-15.
- 佐藤久泰(1974)：小豆品種の栽培環境に対する反応, 道立農試集報.29, 61-71.
- 佐藤久泰ほか(1975)：小豆新品種「アカネダイゴン」の育成について、道立農試集報, 33, 47-57.
- 佐藤久泰ほか(1975)：小豆新品種「栄小豆」の育成について、道立農試集報, 33, 58-67.
- 野村信史ほか(1977)：小豆における下位着莢率の品種間差異ならびに主要形質との関係, 道立農試集報, 36, 1-8.
- 村田吉平ほか(1977)：小豆新品種「ハヤテショウズ」の育成について、道立農試集報, 38, 78-82.
- 谷井昭夫ほか(1979)：Pseudomonas adzukicola A. Tani et T. Baba nov. sp. によるアズキの茎腐細菌病(英文), 道立農試集報, 42, 29-42.
- 佐藤久泰(1979)：小豆の開花・登熟について一気温と栽植密度の影響一、道立農試集報, 41, 10-20.
- 足立大山ほか(1980)：小豆新品種「ホッカイシロショウズ」の育成について、道立農試集報, 43, 80-87.
- 沢口正利ほか(1980)：小豆品種の生育特性と窒素吸収の比較, 道立農試集報.43, 1-11.
- 沢口正利ほか(1981)：小豆における炭水化物の消長と生育との関連, 道立農試集報, 45, 59-69.
- 千葉一美(1982)：アズキ落葉病抵抗性の育種学研究, 1, 抵抗性品種間差, 道立農試集報, 48, 56-63.
- 土屋貞夫ほか(1984)：上川地方におけるアズキ茎疫病の発生生態, 道立農試集報, 51, 105-112.
- 千葉一美(1985)：アズキ落葉病抵抗性の育種学研究, 2, 品種間差の成立過程, 道立農試集報, 52, 79-84.
- 村田吉平ほか(1985)：小豆新品種「エリモショウズ」の育成について、道立農試集報, 53, 103-113.
- 沢口正利(1986)：北海道における小豆の栄養生理特性と施肥法に関する研究, 道立農試報告, 54.

- 千葉一美ほか(1987):アズキ落葉病抵抗性の育種学的研究 3, 抵抗性の遺伝様式とその導入効果, 道立農試集報, 56, 1-7.
- 足立大山ほか(1988):小豆新品種「ハツネシヨウズ」の育成について, 道立農試集報, 57, 13-24.
- 土屋貞夫(1988):アズキ茎疫病とその防除に関する研究, 道立農試報告, 72, 1-76.
- 白井滋久ほか(1990):小豆新品種「カムダイナゴン」の育成について, 道立農試集報, 60, 73-85.
- 島田尚典ほか(1990):小豆新品種「サホロシヨウズ」の育成について, 道立農試集報, 60, 59-72.
- 田引 正ほか(1990):灌水処理によるアズキ落葉病抵抗性の検定と品種間差異, 道立農試集報, 60, 133-142.
- 島田尚典ほか(1992):アズキ新品種「アケノワセ」の育成について, 道立農試集報, 64, 59-74.
- 加藤 淳ほか(1992):北海道産小豆の製アン特性に及ぼす品質関連形質の影響, 第1報, 北海道産小豆の品質関連形質の変異と種皮色とアン色の関, 道立農試集報, 64, 25-34.
- 島田尚典(1993):アズキの粒大及び種皮色の量的変異に関する遺伝, 道立農試集報, 65, 11-20.
- 島田尚典(1993):アズキ粒大および種皮色の量的変異に関する遺伝, 道立農試集報, 65, 11-20.
- 加藤 淳ほか(1994):北海道産小豆の製アン特性に及ぼす品質関連形質の影響, 第2報, 小豆の百粒重とアン粒径の関係, 道立農試集報, 66, 15-23.
- 藤田正平ほか(1995):あずき新品種「きたのおとめ」の育成について, 道立農試集報, 68, 17-31.
- 加藤 淳ほか(1996):北海道産小豆の製アン特性に及ぼす品質関連形質の影響, 第3報, 小豆の煮熟増加比とアン収率の関係, 道立農試集報, 71, 27-34.
- 島田尚典ほか(1997):アズキ新品種「ほくと大納言」の育成について, 道立農試集報, 72, 85-95.
- 富田謙一(1998):網走地方における大豆・小豆の安定多収栽培法, 道立農試集報, 75, 65-71.
- 加藤 淳(1999):アズキおよびインゲンマメの加工特性とその変動要因に関する研究, 道立農試報告, 95, 1-91.

藤田正平ほか(2002)：アズキ新品種「しゅまり」の育成. 道立農試集報.82. 31-40.

藤田正平ほか(2003)：アズキ新品種「とよみ大納言」の育成. 道立農試集報.84. 25-36.

## (2) 日本育種学雑誌

TASAKI, J (1963) : Genecological Studaise in the adzuki bean (*Phaseolus radiatus* L.var. *aurea* Prain). with Special Reference to the Plant Types Used for the Classification of Ecotypes, Japan Journal Breeding. 13(3). 32-44.

村田吉平(1976)：小豆の質的形質の遺伝 第1報 種皮色の遺伝. 育種学雑誌. 26. 別冊2. 109-110.

成河智明ほか(1976)：小豆の量的形質の遺伝. 第1報. 種子色の遺伝. 育種学雑誌. 26. 別冊2. 109-110.

大橋広好(1980)：アズキ類一分類学上の位置と類縁. 育種学最近の進歩. 第21集.73-79.

北海道立十勝農業試験場・小豆育種グループ(1999)：エリモシヨウウスおよび大粒・耐病性アズキ品種群の育成. 講演要旨集. 1別1. 4-5.

村田吉平(1999)：エリモシヨウウスおよび大粒・耐病性アズキ品種群の育成. 育種学研究. 1(3). 173-179.

村田吉平ほか(2002)：系譜作成ソフトによる十勝農試の小豆有種における交配組合せの解析. 育種学研究. 4別2. 168.

高田尚典ほか(2002)：形態形質の異なるアズキ同質遺伝子系統群の育成. 育種学研究. 4別2. 163.



### (3) 日本作物学会紀事

- 田崎順郎(1957)：小豆の生殖生理に関する研究。I. 花芽分化並びにその発育、日作紀、25(3)161-162。
- 田崎順郎(1957)：小豆品種の生態的分類について、日作紀、25(4)244。
- 高橋直秀(1958)：小豆の開花結実に関する生態的研究、日作紀26、43-44。
- 佐藤久泰(1972)：小豆子実の稔実について、日作紀、41(別2)、53-54。
- 由田宏一ほか(1988)：アズキの品質に関する研究、第1報、北海道における収穫・乾燥調整の実態と粒大の地域間差異、日作紀57(別1)117-118。
- 由田宏一ほか(1988)：アズキの品質に関する研究、第2報、北海道産にみられるタンパク含有率(NIR法)の差異、日作紀57(別2)119-120。
- 由田宏一ほか(1989)：アズキの品質に関する研究、第3報、北海道産小豆の種皮色について、日作紀58(別1)74-75。
- 由田宏一ほか(1989)：アズキの品質に関する研究、第4報、吸水特性について、日作紀58(別2)277-278。
- 由田宏一ほか(1990)：アズキにおける品質関連形質の変異とその成因、第1報、北海道産にみられる粒大の変異、日作紀59(3)450-454。
- 由田宏一ほか(1990)：アズキの品質に関する研究、第5報、個体内開花時期との関係について、日作紀59(別1)119-120。
- 由田宏一ほか(1990)：アズキの品質に関する研究、第6報、熱水浸漬後の硬度について、日作紀59(別2)155-156。
- 由田宏一ほか(1990)：アズキの品質に関する研究、第7報、収穫時期、乾燥条件および脱粒方法の影響、日作紀59(別2)157-158。
- 由田宏一ほか(1991)：アズキにおける品質関連形質の変異とその成因、第2報、北海道にみられる種皮色の変異、日作紀60、234-240。

- 高田尚典ほか(1994)：北海道各地における1993年の冷害の実態について。日作紀。64。159-165。  
由田宏一ほか(1995)：アズキにおける品質関連形質の変異とその成因。第3報。種子の吸水性と硬実性について。日作紀。64。7-13。  
佐藤久泰ほか(2003)：北海道におけるマメ類とコムギ品種の普及速度と寿命。日作紀。72(4)。418-423。

#### (4) 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会報

- 野村信史ほか(1967)：小豆の育種年限短縮に関する試験Ⅰ。暖地における育成系統の形質発現と次代の諸形質に及ぼす影響。会報。7.12。  
野村信史ほか(1967)：小豆の育種年限短縮に関する試験Ⅱ。暖地における系統選抜の効果。会報。7.12。  
野村信史ほか(1968)：小豆系統の可視的選抜に影響を及ぼす要因の経路係数分析。会報。8。18-19。  
野村信史(1970)：気温にもとずいた小豆の開化始の予測について。会報。10。23-24。  
成河智明ほか(1970)：豆類の気温と光量に対する反応。会報。10。24。  
成河智明ほか(1970)：豆類の気温と地温に対する反応。会報。10。25。  
佐藤久泰(1972)：小豆の節位別開花結莢及び稔実に関する一考察。会報。12.45。  
佐藤久泰ほか(1975)：小豆のヘテロシスについて。会報。15。34。  
佐藤久泰ほか(1976)：小豆における2、3の質的形質の分離について。会報。15。5。  
佐藤久泰ほか(1976)：小豆品種の年次変動について。会報。16.27。  
村田吉平ほか(1977)：1976年の十勝地方における異常気象と小豆の生育について。会報。17。15。

- 佐藤久泰(1977)：1976年の網走地方における異常気象と小豆の生育について、会報、17、14。
- 中島博ほか(1977)：アズキにおける雄性不稔性の細胞・組織学的特異性、会報、16、20。
- 千葉一美ほか(1977)：アズキ落葉病抵抗性の品種間差について、会報、17、16。
- 村田吉平ほか(1978)：小豆の生育に関する研究 第1報 子実発育の品種間差異、会報、18、6。
- 足立大山ほか(1979)：小豆の生育に関する研究、第3報 栽植密度反応の品種間差、会報、19、47。
- 中嶋博ほか(1980)：アズキにおける雄性不稔性の遺伝様式および組織学的特異性、会報、19、8。
- 成河智明ほか(1980)：小豆・菜豆の登熟とアン粒子の形成について、会報、20、10。
- 村田吉平(1980)：小豆の子実生産過程のシュレミレーション(予報)、会報、20、2。
- 村田吉平ほか(1980)：小豆の生育に関する研究 第2報 莢内の胚珠数と粒数について、会報、19、59。
- 今友親(1981)：1980年の網走地方における異常気象と小豆の開花・結莢率および登熟について、会報、21、5。
- 千葉一美(1981)：アズキ落葉病抵抗性に関する研究、日本育種学会、会報、21、8。
- 成河智明ほか(1981)：小豆、菜豆の登熟とアン粒子の形成について、会報、20、12。
- 村田吉平ほか(1981)：小豆の生育に関する研究、第4報 発芽始、開化始、成熟期の予測と推定、会報、21、4。
- 由田宏一ほか(1982)：アズキの粒大変異について、会報、22、37。
- 千葉一美(1982)：アズキ落葉病抵抗性に関する研究、第2報 抵抗性の遺伝について、会報、22、39。
- 村田吉平(1982)：小豆の生育に関する研究、第5報 草丈、収量構成要素、子実重と気象要因について、会報、22、36。
- 村田吉平(1983)：小豆の生育に関する研究、第6報、葉と莢の表面温度と初霜害について、会報、23、13。
- 足立大山ほか(1983)：小豆雑種の幼苗致死の研究 第1報 致死遺伝子による血縁関係について、会報、22、17。
- 高田尚典ほか(1983)：小豆紙筒移植栽培について、会報、24、30。
- 村田吉平ほか(1984)：1983年の異常気象と小豆の生育—生育初期の低温・日照と生育量、会報、24、28。

- 村田吉平ほか(1984)：1983年の十勝地方における異常気象と小豆の生育，一生育初期の低温・寡照と生育量一，会報，24，28。
- 由田宏一ほか(1985)：高温乾燥年におけるアズキの生育相一冷涼年との比較一，会報，25，21。
- 由田宏一ほか(1985)：節位別にみたアズキの収量構成要素，会報，25，22。
- 村田吉平ほか(1986)：小豆の初期の耐冷性と品種間差異，会報，26，57。
- 村田吉平ほか(1986)：小豆の生育初期の耐冷性と品種間差異，会報，26，57。
- 由田宏一ほか(1987)：アズキの粒揃いに及ぼす年次と栽培方法の影響，会報，27，12。
- 島田尚典ほか(1987)：高温による小豆の花粉不稔・落花現象，会報，27，47。
- 村田吉平ほか(1987)：小豆の温度一生育反応モデルについて，会報，27，36。
- 義平大樹ほか(1988)：アズキの倒伏と地上部形質との関係，会報，28，19。
- 村田吉平(1988)：メシユ氣候図による十勝管内の小豆の作付地帯区分図の作成について，会報，28，20。
- 由田宏一ほか(1989)：アズキにおける個体内開花時期別にみた収量および品質関連形質，会報，29，24。
- 島田尚典(1989)：小豆の開花，結実に関する研究一受粉と落花，着莢，結実の関係，会報，30，46。
- 藤田正平ほか(1989)：小豆の収穫時期と外觀品質との関係，会報，30，47。
- 義平大樹ほか(1989)：培土，踏圧，根切処理がアズキの根系分布，地上部形態，収量に及ぼす影響，会報，29，23。
- 由田宏一ほか(1990)：アズキ種子の吸水性一とくに収穫時期と開花時期との関係およびその品種間差異，会報，30，49。
- 藤田正平ほか(1990)：小豆における種皮色と開花時期との関係およびその品種間差異，会報，31，46。
- 白井滋久ほか(1990)：小豆の子実肥大の品種間差異，会報，30，48。
- 由田宏一ほか(1991)：アズキにおける種皮の構造と物質的性質，会報，31，45。
- 島田尚典(1991)：小豆の耐冷性に関する研究 第1報 受粉に対する開花前の低温の影響，会報，32，24-25。



- 高田尚典ほか(1991)：小豆の粒大形質・種皮色の遺伝，会報，31，47。
- 由田宏一ほか(1991)：播種日の移動に対するアズキの反応—収量および収量構成要素を中心に—，会報，32，22-23。
- 高田尚典ほか(1993)：1993年に十勝地方で認められた低温による小豆の着莢・結実障害の解析，会報，34，34-35。
- 由田宏一ほか(1993)：アズキの莢実生率と種皮色および種子生存力の変化，会報，34，28-29。
- 佐藤導謙ほか(1993)：アズキ品種「カムイダイナゴン」の種皮色に対する播種日及び収穫時期の影響，会報，34，30-31。
- 藤田正平ほか(1993)：小豆の登熟期間における不織布被覆の効果並びに霜害粒の発芽について，会報，34，32-33。
- 高田尚典ほか(1994)：小豆の耐冷性に関する研究 第2報 開花期間の低温が受粉・受精に及ぼす影響，会報，35，110-111。
- 沢田杜兵ほか(1995)：アズキにおける煮えむら発生の品主間および収穫時期間変異，会報，36，116-117。
- 藤田正平ほか(1995)：アズキ茎疫病抵抗性品種の地理的分布について，会報，36，118-119。
- 村田吉平ほか(1995)：ネパール・ブータンにおける小豆遺伝資源の収集とその特性，会報，36，120-121。
- 村田吉平ほか(1996)：1996年の十勝地方は小豆の冷害か？—十勝地方の気温と小豆の収量—，会報，37，158-159。
- 山本圭一ほか(1996)：アズキ品種・系統「エリモシヨウズ」と「十育134号」の開花数、着莢数および結莢率，会報，37，160-161。
- 小川省吾ほか(1996)：アズキ品種における粒大、タンパク%および種皮色の環境変異，会報，37，164-165。
- 高田尚典ほか(1996)：小豆の収穫時期、風乾・脱穀方法が品質に及ぼす影響，会報，37，162-163。
- 足立大山ほか(1996)：小豆雑種の幼苗致死に関する研究 第4報 九州及び韓国在来種の補足致死遺伝子の地理的分布，東北支部会報，39，91-92。
- 藤田正平ほか(1997)：1997年十勝地方における8月中旬の低温が小豆に与えた影響，会報，38，128-129。
- 長岡泰良ほか(1997)：エリモシヨウズ種皮色の成熟にともなう変動，会報，38，126-127。
- 高塚 誠ほか(1998)：アズキ種子の吸水性—脱粒法と貯蔵条件の影響—，会報，39，123-124。

- 長岡泰良ほか(1998)：アズキ種皮色に及ぼす登熟期の温度の影響，会報，39，119-120。
- 長岡泰良ほか(1999)：アズキ種皮色に及ぼす登熟期の温度の影響，第2報，種皮色の地帯間差異，会報，40，117-118。
- 佐藤久泰ほか(1999)：アズキ品種の普及に関する研究，第1報，十勝における多収記録と新品種の普及，会報，40，115-116。
- 長岡泰良ほか(2000)：アズキ種皮色に及ぼす登熟期の温度の影響，第3報，エリモシヨウズ種皮色の年次間差異，会報，41，105-106。
- 佐藤久泰ほか(2001)：アズキ品種の普及に関する研究，第2報，普及速度と寿命，会報，42，115-116。
- 佐藤久泰ほか(2002)：マメ類とムギ類品種の普及速度と寿命，会報，43，55-56。
- (5) 日本植物病理学会報
- 坪木和男ほか(1967)：マメ類菌核病防除薬剤の効果と散布回数について，会報，33(5)，353。
- 赤井 純ほか(1971)：アズキ落葉病菌の菌株と品種系統間差，会報，52，168。
- 赤井純ほか(1971)：十勝地方に多発したアズキ落葉病菌の発生と被害について，会報，37，168。
- 土屋貞夫ほか(1975)：アズキ落葉病菌の感染生態，会報，41，266。
- 北沢健治ほか(1978)：Phytophthora vignae Purss によるアズキ茎疫病(新称)，会報，44，528-531。
- 北沢健治ほか(1978)：アズキ茎疫病の病原菌について，会報，44，74-75。
- 土屋貞夫ほか(1978)：上川管内におけるアズキ茎疫病の病原菌と発生状況，会報，44，75。
- 北沢健治ほか(1984)：アズキ立枯病の病原菌 *Fusarium oxysporum* Schl.について，会報，50，643-645。

Tsuchiya S. et al (1986) : Formae speciales Differentiation of Phythophthora vignae Isolates from Cowpea and Azuki Bean Ann. Phytopath. Soc. Japan.

近藤則夫ほか(1990) : Inheritance of Resistance to Three Races of Fusarium oxysporum f.sp adzukicola in Adzuki Bean Cultivars. 会報. 56. 677-679.

近藤則夫ほか(1994) : Resistance Gene Loci to Fusarium oxisporum f.sp adzukicola in Adzuki Bean Cultivars Hatsune-shozu and Toiku No.123. 会報 . 60. 107-108.

## (6) 植物防疫

赤井 純(1970) : 豆類菌核病の発生予察と防除. 植物防疫. 24(9).

成田武四ほか(1971) : アズキ落葉病とその病原菌. 植物防疫. 25. 353-358.

土屋貞夫ほか(1978) : アズキ茎疫病とその病原菌. 植物防疫. 35. 357-360.

土屋貞夫ほか(1981) : 茎疫病の生態と防除—マメ類の茎疫病—, 植物防疫. 35. 439-442.

(北日本病害虫研究会報)

土屋貞夫ほか(1977) : アズキ落葉病の発生原因の解析. 北日本病害虫研究会報. 28. 7.

坪木和男ほか(1967) : 豆類菌核病の感染機作. 第1報. 菌糸感染と低温. 北日本病害虫研究会報. 18. 56.

## (7) 北 農

- 藤根吉雄(1938)：小豆新優良品種「新大納言」の特性。北農.5(2). 2-4.
- 玉山 豊(1939)：豆類の栽培。第7講。北農.6(7)30-33.
- 宮浦 学ほか(1957)：大豆新優良品種「イヌズ」。北農.24(10). 1-11.
- 野村信史(1964)：小豆の生育ならびに開花・結実に及ぼす低温の影響(予報)。北農. 31(4). 1-3.
- 吉岡真一ほか(1969)：畑地の地力と小豆の生育について。その2。北農.36(4). 1-10.
- 佐藤久泰(1970)：小豆の莢伸長ならびに子実の肥大経過について。北農. 37(10). 19-28.
- 赤井 純ほか(1971)：豆類菌核病の防除技術に関する試験。北農.38(8).1-10.
- 今 友親ほか(1972)：冷害年における小豆の多収例とその生育解析。北農. 39(2). 40-42.
- 佐藤辰四郎ほか(1975)：豆類増収技術の確立に関する試験。第2報。十勝地方火山性土壌における小豆の施肥反応について。北農. 42(11). 1-10.
- 佐藤久泰ほか(1978)：小豆種子の貯蔵年数と主要形質の変動について。北農. 45. 6. 1-7.
- 沢口正利ほか(1978)：豆類増収技術の確立に関する試験。第4報。各種上壤処理が小豆の根粒着生及び生育、収量に及ぼす影響。北農. 45(11). 1-12.
- 浅間和夫ほか(1984)：小豆の種皮色に及ぼす登熟期における気象条件の影響。北農. 51(5). 6-11.
- 浅間和夫ほか(1984)：小豆の種皮色の地域間並びに品種間差異について。北農. 51(6). 1-6.
- 鈴木清史ほか(1986)：上川北部の1地域における大豆および小豆栽培の実態と問題点。北農. 53(1). 10-23.
- 相馬 暁ほか(1989)：北海道産豆類の品質向上に関する研究。第1報。北海道産小豆の品質現況と問題点。北農. 56(9).1-5.



相馬 暁ほか(1989)：北海道産豆類の品質向上に関する研究，第2報，小豆の外観品質構成要素・種皮色について，北農，56(10)，11-27。  
足立大山ほか(1990)：アズキ「エリモシヨウズ」の上胚軸カルスからの植物体再生，北農，57，63-65。  
千葉一美ほか(1993)：小豆新品種「アケノワセ」，北農，59，4，87。  
島田尚典(1997)：アズキの障害型耐冷性の品種間差異，東北農業研究，46，83-84。  
村田吉平(1997)：北海道における小豆・菜豆の品種改良の現状と課題，北農64(2)，112-118。

## (8) 日本土壌肥料学雑誌

沢口正利(1978)：小豆の収量水準向上の関する土壌肥料学的考察，第3報 窒素、磷酸の施肥処理が生育、収量に及ぼす影響，要旨集.24(Ⅱ)，13。  
沢口正利(1979)：小豆の収量水準向上の関する土壌肥料学的考察，第4報 施肥処理に伴う体内養分動態と生育、収量との相互関係，要旨集.25(Ⅰ)，80。  
沢口正利ほか(1980)：小豆の収量水準向上の関する土壌肥料学的考察.第6報現地多収農家圃の土壌養分状況と生育、養分吸収経過，要旨集.26(Ⅰ)，121。  
沢口正利ほか(1982)：小豆の収量水準向上の関する土壌肥料学的考察，第9報 発芽に及ぼす施肥窒素の影響，要旨集.28(Ⅱ)，213。  
沢口正利ほか(1983)：小豆の収量水準向上の関する土壌肥料学的考察，第11報 後期窒素供給法の検討、とくに葉面追肥について，要旨集.29(Ⅱ)，227。

- 沢口正利ほか(1983)：小豆の収量水準向上の関する土壌肥料学的考察，第12報，初期生育に対する磷酸効果，要旨集，29(I)，128.
- 沢口正利ほか(1984)：小豆の収量水準向上の関する土壌肥料学的考察，第13報，磷酸施肥形態の生育、収量に及ぼす影響，要旨集,30(I)，144.
- 相馬 暁ほか(1990)：北海道産小豆の品質，第1報，アン粒子組成と食味，要旨集，36，85.
- 加藤 淳ほか(1998)：明度および彩度を用いたアズキ種皮色の2次元座標表示，土肥誌,69，190-194.

## (9) 他学会誌

- 塩田芳之ほか(1976)：あんに関する研究，第4報，あんの物性について，家政学雑誌，27，180-185.
- 村田吉平(1988)：十勝地方におけるメシユ気候値と小豆の成熟期の推定，北海道の農業気象，40.
- 平 春枝ほか(1989)：北海道産小豆の品質と品種生産地間差異，日本食品工業学会誌，32，35-42.
- Jun KATO etc(2000)：Variations in the Seed Coat Color of Adzuki Beans in the Aspect of Varieties, Harvest Years and Growing Locations, using Two-dimensionalColor Mapping, Plant Production Science, 3, 61-66.

## (10) 大学紀要

- 村上知子(1978)：小豆の加熱に関する研究(第2報)，北海道教育大学紀要(第II部C)，28，31-39.

村上知子ほか(1980)：小豆の加熱に関する研究(第3報)．北海道教育大学紀要(第Ⅱ部A)．31．55-60．  
渡辺篤二ほか(1982)：小豆餡の食品化学的研究．第1報．小豆餡中のタンパク質及びデンプンの性状．共立女子大学紀要．25．29-39．  
渡辺篤二ほか(1982)：小豆餡の食品化学的研究．第2報．小豆の煮熟(加熱)による餡粒子形成について．共立女子大学紀要．25．41-50．  
由田宏一(1987)：豆類の粒大変異に関する作物学的研究．北海道大学農学部邦文紀要．15．385-434．  
近藤則夫(1995)：アズキ萎凋病に関する研究．北海道大学農学部邦文紀要．19(5)．411-472．

## (11) 農試研究報告等

KAWAHARA, E(1959)：Studies on the adzuki bean varieties in Japan.I. On the ecotypes of varieties. 東北農業試験場研究報告．15．53-66．  
谷地田武男ほか(1961)：餡に関する研究．第1報．製餡原料の澱粉及び餡粒子の性状について．新潟県食品研究所報．6．21-29．  
谷地田武男ほか(1972)：餡に関する研究．第4報．餡の粒度構成と練餡の物理性について．新潟県食品研究所報．12．31-38．  
今井梯三ほか(1990)：アズキのへそ周辺にみられた白斑現象について．新潟県農試研究報告．37．63-64．  
小林 勉ほか(1994)：ペトナムにおける豆類遺伝資源の探索収集．植物遺伝資源探索導入調査報告書(生物資源研究所)．10．141-169．

- 曳野亥三夫ほか(1996):小豆新品種「兵庫大納言」の育成とその特性. 兵庫県農業技術センター研究報告(農業編). 44. 57-90.
- 曳野亥三夫ほか(2000):白小豆新品種「白小豆兵系3号」の育成. 兵庫県農業技術センター研究報告(農業編). 48. 40-45.

## (12) 雑豆時報・豆類時報

- 沢口正利(1983):北海道におけるアズキとインゲンマメ. (6)豆類栽培における土壌肥料の役割. 雑豆情報. 16. 30-34.
- 村田吉平(1985):試験研究 裏ばなし「茶殻早生」をめぐって—この極早生の小豆品種はどこからきたのか—. 雑豆時報. 27. 50-51.
- 島田尚典(1985):十勝農試研究紹介 3. 小豆の国内遺伝子源収集. 雑豆時報. 24. 46-47.
- 村田吉平(1986):試験研究 小豆雑考. 雑豆時報. 29. 32-35.
- 島田尚典(1988):高温による小豆の落花現象. 雑豆時報. 34. 30-32.
- 佐藤久泰(2000):北海道のアズキ. 第1報. 面積・収量・生産量の推移. 豆類時報. 18. 15-20. 日本豆類基金協会.
- 佐藤久泰(2000):北海道のアズキ. 第2報. アズキ品種普及の変遷. 豆類時報. 19. 6-12. 日本豆類基金協会.
- 佐藤久泰(2000):北海道のアズキ. 第3報. アズキの多収事例. 豆類時報. 20. 9-15. 日本豆類基金協会.
- 佐藤久泰(2000):北海道のアズキ. 第4報. 十勝管内におけるアズキ新品種普及の経済効果. 豆類時報. 21. 9-15. 日本豆類基金協会.



村田吉平(2001)：平成12年、十勝地方の小豆反収が5俵以上となった。豆類時報，23，13-19，日本豆類基金協会。  
佐藤久泰(2003)：アズキの特性。1. 初霜時期と冷害。豆類時報，33，12-15，日本豆類基金協会。  
平井 幸(2003)：大納言小豆‘岡系1号’の育成。豆類時報，31，17-18，日本豆類基金協会。  
古川勝弘(2004)：マキバカスカミカメによる小豆の被害と防除対策。豆類時報，32，19-26，日本豆類基金協会。  
佐藤久泰(2004)：アズキの特性。2. 円葉と剣先葉。豆類時報，35，13-15，日本豆類基金協会。  
青山 聡(2004)：白小豆新品種「きたほたる」。豆類時報，37，15-18，日本豆類基金協会。  
佐藤久泰(2004)：アズキの特性。3. 花外蜜腺。豆類時報，37，19-21，日本豆類基金協会。

### (13) 資料・雑誌等

北海道庁(1886)：北海道庁統計調査書，第1回。  
北海道農事試験場(1925)：協議要録(自明38～大14)，79-80。  
北海道農事試験場(1928)：主要農作物品種の分布に関する調査。  
北海道農事試験場十勝支場(1948)：事業成績，各年度。  
北海道農事試験場十勝支場(1949)：事業法案，事業成績書。  
高倉新一郎(1951)：北海道農業試験場史，第1部，北海道農業試験場前史，農業発達史調査会資料，62 (謄写刷)。  
北海道立農業試験場(1952)：主要農作物優良品種の解説，1-216。  
北海道農務部農業改良課編(1958)：農業技術普及資料，2(7)・21-29。  
北海道立農業試験場十勝支場(1959)：小豆「宝小豆(W45)」について，農業技術普及資料，2(7)，21-29。

- 農林省農林経済局統計調査部(1960)：昭和34年北海道主要作物農家別まめ品種別統計表。  
北海道立農業試験場(1960)：農作物優良品種の解説。道立農試資料。第3号。49-50。  
北海道立農業試験場十勝支場(1961)：66年のあゆみ。  
北海道立農業試験場十勝支場(1964)：小豆「十育7号」に関する試験成績。農業技術普及資料。7(6)。34-37。  
北海道農務部農業改良課編(1964)：農業技術普及資料。7(6)。34-37。  
北海道立北見農業試験場(1967)：気象と作物。道立北見農試資料。第1号。13-29。  
北海道農業試験場(1967)：北海道農業技術研究史。  
大井次三郎ほか(1969)：アジアのアズキ類。植物研究雑誌。44。29-31。  
齋藤正隆ほか(1969)：北海道における豆類の保護対策。農産及園芸。44。325-331。  
山川 勉(1969)：北海道網走地方における小豆の冷害と安定多収要因。農業および園芸。44。1393-1398。  
古沢典夫(1971)：小豆新品種「岩手大納言」について。日本豆類資料。8。26-29。日本豆類基金協会。  
赤井 純(1971)：豆類菌核病の発生病態と防除。農産及園芸。46。1054-1058。  
北海道立十勝農業試験場(1972)：小豆・菜豆・えん豆に関する試験成績集(1895～1971)。十勝農試資料。第4号。1-151。  
十勝農業協同組合連合会(1973)：一記録への挑戦—十勝農作物増収記録会10年誌。  
山川 勉(1974)：豆類多収経営優良事例調査6年の成績。日本豆類基金協会。  
北海道農務部(1975)：豆類多収経営優良経営事例集。  
北海道農業試験場(1975)：北海道における作物多収種記録に関する調査報告。1-142。  
北海道立十勝農業試験場(1976)：十勝農業試験場80年のあゆみ。  
北海道立北見農業試験場編(1977)：農作物に対する異常気象の影響—昭和51年の網走管内の実態から—北見農試資料  
第2号。43-46。

- Marechal, R. etc (1978) : Etude taxonomique dun groupe complexe despeces des genres Phaseolus et Vigna ( Papilionaceae) sicer la base dedonnees morphologiqueset polliniques, traitees par lanalyse informatique. Boissiera 28. 1-273.
- 北海道立十勝農業試験場(1978) : 昭和56年の異常気象と十勝の畑作物. 十勝農試資料. 第7号.
- 北海道立十勝農業試験場(1978) : 豆類の耐冷性に関する試験成績集. 十勝農試資料. 第5号. 1-91.
- 北海道農務部畑作振興課(1978) : 北海道畑作物累年統計. 1-20.
- 岩手県立農業試験場(1979) : 小豆「岩系2号」(紅南部)について. 1-8. 奨励品種編入に関する資料.
- 北海道立中央農業試験場(1979) : 農作物優良品種の解説. 道立農試資料. 第9号. 72-76. 182-183.
- ニューカントリ増刊(1983) : 絵でみる作物管理のすべて 第3章 豆類/小豆. 102-115.
- 斎藤正隆(1983) : 雑豆栽培の技術と問題点. 農業および園芸. 58. 125-132.
- 十勝農業協同組合連合会(1983) : 十勝農作物増収記録会20年誌—記録の背景と展望—.1963~1982.70-82.
- 北海道立十勝農業試験場(1983) : 大豆・小豆・菜豆に関する試験成績集. 道立十勝農試資料. 第8号.
- 原正紀(1984) : 記録の経過と将来展望. 4 小豆. 77-82. 十勝農作物増収記録会20年誌. 審査委員会.
- 北海道立十勝農業試験場(1984) : 昭和58年の冷湿害による十勝の畑作物被害解析. 道立十勝農試資料. 第9号. 43-54.
- 原正紀ほか(1985) : 8) 豆類遺伝子源の海外調査(韓国). 植物遺伝資源探索導入調査報告書(生物資源研). 昭和58年度~昭和59年度. 172-193.
- 村田吉平(1986) : IV 気象条件と生育収量. III 生育中期の生育と技術. IV 生育後期の生育と技術. 農業技術体系. 追録. 8号. 作物編 6、ダイズ、アズキ. 技21-28.技57-59. 技67-68.
- 佐藤久泰(1986) : 各種の栽培体系. 転換畑アズキ栽培体系. 技91-93. アズキのマルチ栽培. 技95-97. 農業技術体系. 追録. 8号. 作物編 6、ダイズ、アズキ.

- 原正紀ほか(1986)：韓国における豆類遺伝資源の探索と導入，研究ジャーナル，19-1，45-50，農林水産技術会議，
- 原正紀ほか(1986)：耐病性の小豆新品種「ベニダイナゴン」および「ハツネショウズ」の育成，農業技術，41，3，
- 24-26，
- 原正紀(1987)：あずき；日本の特産農作物，36-47，地球社，
- 畑井朝子(1987)：あんに関する最近の研究動向，調理科学，20，294-301，
- 村田吉平ほか(1987)：異常気象対応技術に関する調査概要 第2 豆類の生育と微気象，微気象観測施設成績報告(北海道農務部)，21-82，
- 北海道立中央農業試験場(1987)：農作物優良品種の解説，道立農試資料，第18号，37-40，110-111，
- 佐藤久泰(1990)：第3章豆類，北海道農業技術百科，184-234，北海道農業改良普及協会，
- 十勝農業協同組合連合会(1993)：十勝農作物増収記録会30年誌—記録の変遷と技術的評価—，1963～1992.60-73，
- 千葉一美ほか(1993)：小豆新品種「アケノワセ」，農業技術，48，1，30，
- 十勝支庁ほか(1994)：'93 異常気象と十勝の畑作物，
- 北海道立中央農業試験場(1994)：中央農業試験場30年のあゆみ.42-48，
- 北海道農政部(1994)：道産豆類地帯別栽培指針，46-54，
- 北海道立中央農業試験場(1994)：平成5年北海道における農作物異常気象災害に関する緊急調査報告書 畑作編，道立農試資料第2号.17-19.54-59，
- 島田尚典(1995)：ペトナム豆類遺伝資源探索旅行，十勝農学談話会誌，36，63-73，
- 北海道立十勝農業試験場(1995)：十勝農試 最近の研究成果，12-13，
- 北海道立十勝農業試験場(1996)：十勝農業試験場100年記念誌，63-96，
- 畑井朝子(1996)：小豆の煮熟性について，New Food Industry. 38(7)，17-23，



- 北海道立中央農業試験場(1996)：農作物優良品種の解説，道立農試資料，第26号，49-53，152-153。  
日本豆類基金協会(1999)：雑豆に関する資料.1-195。  
十勝農業協同組合連合会(1999)：十勝農作物増収記録会審査報告。  
山口裕文(2000)：照葉樹林文化が育んだ作物小豆のルーツ—ヤブツルアズキからアズキへの道，十勝農学談話会誌，第41号.69-75。  
全国豆類経営改善共助会審査委員会(2000)：全国豆類経営改善共助会成績概要，全国農協中央会・日本豆類基金協会・日本農業新聞。  
北海道立中央農業試験場(2001)：小豆のタンニン含量の変動要因と食味(渋味)に及ぼす影響，1-19，平成12年度北海道農業試験会議資料。  
佐藤久泰(2004)：北海道におけるアズキ品種の普及に関する研究.1-98，佐藤久泰技術士事務所。

#### (14) 書籍等

- 永井威三郎(1948)：作物栽培各論，第2巻，127-149，養賢堂。  
大井次三郎(1953)：日本植物誌.690-691，東京。  
河原栄治(1962)：作物大系 第4編 豆類 IV 小豆.1-32，養賢堂。  
北海道立総合経済研究所(1963)：北海道農業技術発達史.上・下。  
安孫子孝次(1968)：北海道農業よもやま話，86-87，安孫子顕彰会。  
後木利三ほか(1970)：さいとうおよびあずき作，戦後農業技術発達史，第3巻畑作編，財団法人日本農業研究所編。

- 成河智明ほか(1976)：アズキ基礎編，農業技術体系作物編 6，1-69，農山漁村文化協会。
- 後木利三ほか(1978)：北海道の畑作技術，-豆類編-，農業技術普及協会，.
- 北海道立上川農業試験場(1981)：水田転換畑における小豆茎疫病の発生要因解析と対策試験，北海道農務部編，昭和56年普及奨励ならびに指導参考事項，241-242。
- 渡辺篤二監修(1982)：豆の事典-その加工と利用-，アズキ，9-17，幸書房。
- 後木利三監修(1986)：北海道の豆作技術，小豆-菜豆編，農業技術普及協会。
- 小島睦男編(1987)：わが国におけるマメ類育種，364-390，明文書房
- 村田吉平(1989)：植物遺伝資源集成 I 食用作物 4，マメ類 (2)アズキ，p17-21 講談社。
- 世界有用植物事典編集委員会(1989)：世界有用植物事典.1092-1094，平凡社。
- 日本豆類基金協会(1991)：豆類の品種(増補版).160-205。
- 相馬 暁(1992)：豆おもしろ雑学事典，1-122，チクマ秀版社。
- 山本 正(1996)：近世蝦夷地農作物年表，41-45，北海道大学図書刊行会。
- 三分一敬監修(1998)：北海道における作物育種.139-155，北海道協同組合通信社，札幌。
- 加藤 淳 (2002)：小豆でぐんぐん健康になる本，1-174，BABジャパン。
- 山口裕文(2003)：照葉樹林文化が育んだ雑豆“あずき”と祖先種，雑穀の自然史.128-142，北海道大学図書刊行会。